

## 第2章 意匠における取組

### 1. 意匠の早期権利化ニーズに応えるための取組

#### (1) 早期審査

一定の要件の下で、出願人からの申請を受けて通常の審査に比べて早く行う審査。

- 申請件数は1-5-8図を参照。
- 模倣品対応のための早期審査については、申出から原則1か月以内に一次審査結果を通知する運用を実施。2023年の申出実績は19件。
- 2023年の早期審査の申出から一次審査通知までの期間は平均1.8か月。

早期審査について



<https://www.jpo.go.jp/system/design/shinsa/soki/index.html>

### 2. 質の高い権利を設定するための取組

#### (1) 品質管理に関する取組

「意匠審査に関する品質ポリシー」及び「意匠審査の品質管理に関するマニュアル」の下、世界最高品質の意匠審査の実現に向けた取組を実施。

- 品質保証として、審査官同士の協議（管理職との協議も含む）、管理職による決裁（通知書等のチェック）を実施。
- 品質検証として、品質監査及びユーザー評価調査（1-5-9図参照）を実施。
- 品質管理に対する外部評価として、審査品質管理小委員会を開催し、同委員会において、2023年度の品質管理の実施体制・実施状況について評価。

意匠審査の品質管理



<https://www.jpo.go.jp/introduction/hinshitu/shinsa/isho/index.html>

#### (2) 意匠審査基準等に関する取組

産業構造の変化や出願の動向等を考慮して、意匠制度の見直しを実施。

- 2023年12月、「不正競争防止法等の一部を改正する法律」（令和5年6月14日法律第51号）による意匠法（新規性喪失の例外適用申請手続の緩和）や特許法（手続のデジタル化）の改正に対応するため、また、現行意匠法における画像意匠として保護可能な範囲の明確化の観点から意匠審査基準を改訂。
- 2023年12月、上記意匠法等の改正に対応するため、意匠審査便覧を改訂。また、付属書に意匠法第4条第1項の規定を適用するための要件に関する参考審判決例集を追加。

意匠の新規性喪失の例外規定についてのQ&A集



<https://www.jpo.go.jp/system/design/shutugan/tetuzuki/ishou-reigai-tesuduku/document/index/ishou-reigai-qa24.pdf>

仮想空間において用いられる画像の意匠登録出願に関するガイドブック



<https://www.jpo.go.jp/system/laws/rule/guideline/design/kaso-gazo-gui-debook.html>

- 2023年12月、「意匠の新規性喪失の例外規定についてのQ&A集」を改訂。
- 2024年3月、「仮想空間において用いられる画像の意匠登録出願に関するガイドブック」を公表。

### (3) 先行意匠調査のための基盤整備

先行意匠調査は、審査の質の維持・向上のための重要な柱の一つであり、そのための基盤である意匠公知資料や意匠分類を恒常的に整備することが重要。

具体的には、意匠審査における新規性及び創作性の判断のため、国内外の雑誌、カタログ、インターネット等から新規な意匠の情報を抽出して電子化し、意匠公知資料として整備。また、迅速・的確な先行意匠調査のための有効な検索キーである日本意匠分類や、分類定義カードのメンテナンスを実施。

- 2023年度は、公知資料化する外国意匠公報への日本意匠分類の付与効率を高めるため、AI技術を活用した分類付与方法に関する研究を実施。

### (4) 面接

審査官と出願人又はその代理人との間において円滑な意思疎通を図るとともに、審査を効率化することを目的として、面接を実施。

- 2023年は、全118件を実施（うち、オンライン面接29件、出張面接5件）。

面接ガイドライン【意匠審査編】



[https://www.jpo.go.jp/system/laws/rule/guideline/design/mensetu\\_guide\\_isyou.html](https://www.jpo.go.jp/system/laws/rule/guideline/design/mensetu_guide_isyou.html)

## 3. その他の取組

### (1) 意匠制度の普及啓発に関する取組

意匠制度の普及啓発を目的として、様々な取組を実施。

- 2024年1月、海外の意匠制度ユーザーに向けて、日本の意匠制度の特徴や近年の法令改正、日本の意匠出願手続においてユーザーが特に間違いやすいポイントについて解説した英語のガイドブック“Your Key to Success: for Obtaining a Design Right in Japan”を発行。特許庁HPにも掲載。
- 令和元年意匠法改正に関する情報を集約した「令和元年改正意匠法改正特設サイト」において、出願動向や関連資料の情報を随時発信。

“Your Key to Success: for Obtaining a Design Right in Japan”の発行について



[https://www.jpo.go.jp/system/design/gaiyo/info/your\\_key\\_to\\_success.html](https://www.jpo.go.jp/system/design/gaiyo/info/your_key_to_success.html)

令和元年意匠法改正特設サイト



[https://www.jpo.go.jp/system/design/gaiyo/seidogaiyo/isyou\\_kaisei\\_2019.html](https://www.jpo.go.jp/system/design/gaiyo/seidogaiyo/isyou_kaisei_2019.html)

### (2) 意匠出願動向調査

意匠の出願動向を調査し、それらの調査結果を発信。

- 各国・地域における全体的な意匠出願動向の調査として「意匠マクロ調査」を実施。2023年度は、日米欧中韓の意匠登録動向をはじめ、ハーグ協定に基づく意匠の国際登録動向や、グローバル企業の意匠登録動向等を調査。

### (3) 意匠公知資料の公開

特許庁が保有する意匠公知資料のうち、利用許諾を得た資料については、企業等の先行意匠調査や意匠権調査及び新たなデザイン開発の参考資料として利用されるよう、J-PlatPat等を通じて広く一般公開。

意匠・商標出願動向調査



[https://www.jpo.go.jp/resources/report/gidou-ho-ukoku/isyou\\_syouhou-ho-ukoku.html#ishou](https://www.jpo.go.jp/resources/report/gidou-ho-ukoku/isyou_syouhou-ho-ukoku.html#ishou)

J-PlatPat



<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/d0100>